

証券アナリストのための IFRS DVD通信講座!

(国際会計基準)

IFRSへの会計基準の共通化は、「証券アナリスト」に与える影響が大きいといえます。ここでの「証券アナリスト」とは広義の定義で、リサーチアナリスト(狭義の証券アナリスト)、ファンドマネージャー、投資アドバイザーなども含みます。

また、CMA試験(日本の証券アナリスト試験)の学習経験者などもIFRSを学習するメリットは大きいと考えます。そこで、本講義では「証券アナリスト」の視点を重視し、IFRSの知識を習得いたします。

IFRSとは

(国際会計基準)

IFRS(国際会計基準、国際財務報告基準)は、世界的に承認され遵守されることを目的として、国際会計基準審議会(IASB)によって設定される会計基準の総称です。

現在、110カ国以上でIFRSが採用されています。日本では2010年3月期から任意適用が始まりました。また、2012年前後に最終判断をし、早ければ2015年にはIFRSが日本の上場企業に強制適用される見込みとなっています。

CONCEPT

- 証券アナリストの視点を重視し、IFRSの知識を習得
- 理論編でIFRSの会計基準等を理解し、実践編で分析を中心に学習
- 証券アナリスト講座の講師が担当(公認会計士、CFA、CMAの有資格者)
- 証券アナリスト講座、20年のノウハウを結集

こんな方にオススメです

- ・ CMA試験(日本のアナリスト試験)の学習経験者
- ・ CFA試験の学習経験者
- ・ アナリスト、ファンド・マネージャー、投資アドバイザー、IR担当者

カリキュラム 全6回(理論編4回+実践編2回)

理論編

全4回

理論編では、IFRSそのものについて、投資家または証券アナリストがおさえておきたい項目を、主に財務会計の視点から学習します。

① IFRSの全体像

IFRSの構成、経緯、現状、今後の動向を見渡します。

② IFRSの財務諸表

IFRSを先行適用した財務諸表および注記を題材に、IFRSの特徴を把握します。

③ IFRSの主な会計基準

収益認識、金融商品、退職給付その他、IFRSのなかで、日本企業に適用した場合に財務諸表に与える影響の大きい項目を中心に、IFRSの内容を学習します。

講師

理論編/村上講師(公認会計士)

※理論編は公認会計士が担当します。

実践編

全2回

実践編では、主に財務諸表分析の視点から学習します。また、IFRSと日本基準の比較だけでなく、米国基準との差異についても扱います。

① 証券アナリストから見たIFRSの主要テーマ

理論編で学習した内容等の中で、証券アナリストにとって特に重要なテーマを絞り込みます。

② IFRS・日本基準・米国基準の比較

証券アナリストにとっての主要テーマについて、IFRSと日本基準の主な差異を確認します。また、米国基準との差異についても触れます。

③ 会計基準の差異が、財務諸表や財務指標に与える影響

会計基準の差異が、企業の財務諸表や、財務諸表分析に用いる指標にどのような影響を与えるかを学習します。

講師

実践編/島津講師(CFA、CMA)

受講料・お申込みコードなど

コース名	証券アナリストのためのIFRS DVD通信講座
コースコード	103-311-96
受講料	39,000円(5%税・教材費込)
申込み方法	TACの受付窓口でのお申込み、またはe受付でのお申込みとなります。
発送日程	随時発送

質問体制について

質問e-mail・
質問カード

質問内容は、本講義、教材に関するものに限定させていただきます。それ以外の質問につきましては、回答をお断りさせていただきます。あらかじめご了承ください。

お申込みに関して

- お申込期限:2011年3月31日(木)までとなります。
- 受講料には、教材費・5%消費税が含まれております。
- DVD通信講座のご送付先は、日本国内に限らせていただきます。
- DVD通信講座は、DVD-Rメディアでのご提供になりますので、DVD-Rメディア対応のDVDプレーヤーのみご視聴になれます。なお、パソコンやゲーム機などでの動作保証はいたしておりませんので、予めご了承ください。